
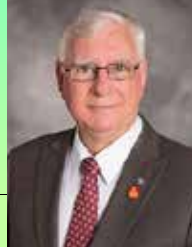




事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：唐澤敏治 副会長：田中洋 幹事：市川満貞

 <p>ロータリー： 変化をもたらす</p>	<p>2017-2018 国際ロータリーのテーマ ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE</p>	<p>2017-2018 RI会長 イアン H.S.ライズリー オーストラリア (ビクトリア州)</p>	
第1425回例会 平成29年11月14日(火)			

地区補助金事業・奉仕プロジェクト（於：長野県伊那養護学校） 「伊那養護学校との交流を通じた教育助成事業」

●フラッポリン贈呈式 11:00開式 進行：市川修次SAA

1. 経過報告…小向誠一ロータリー財団委員長
2. 挨拶……唐澤敏治会長
3. 目録贈呈…唐澤敏治会長より
4. ご挨拶……渡邊和幸教頭先生



みなさんこんにちは

伊那養護学校の教頭をしております渡邊和幸と申します。

本日は校長の片桐が所要により不在ですので、わたくしがかわりまして御礼の言葉をのべさせていただきます。

さて、このたびは、伊那中央ロータリークラブ様よりフラッポリンをいただきました。本校のすべての子ども達、全職員、全保護者にかわりまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

おかげさまで、この11月に設置して以来、多くの子ども達が毎日とても楽しく遊んでいます。

フラッポリンは一度に複数名の子どもが利用できます。体幹を中心とした筋力アップ、バランス感覚の育成、フラッポリンを介して先生や友だちと一緒に関わることによるコミュニケーションや社会性の育ちなど、様々な教育的効果が期待される遊具です。

わたしは、このような素晴らしい遊具をいただけたことはもちろんですが、伊那中央ロータリークラブ様が、本校の子ども達のためにとお考えいただいたそのお気持ちがとてもありがたく嬉しいです。

上伊那はとても気持ちのあたたかい地域だと思います。県内でどこよりも早く全ての市町村で副学籍の制度を取り入れました。すべての人がお互いの違いを認め、尊重しあい、全員が参加する共生社会の実現に向けたこの取り組みは、全国的にも高く評価されています。伊那養護学校がこの地にあることはほんとうにありがたいことです。わたくしは、この伊那養護学校という学びの場で、日々生き生きと自分から自分で精いっぱい学んでいる本校の子どもたちのことを上伊那中のみなさんに、もっともっと知っていただきたいと考えています。そういった意味からも、本日、こうして伊那中央ロータリークラブの皆様へ本校においでいただいたことはとても嬉しいです。

伊那中央ロータリークラブの皆様、どうか今後とも、本校の子ども達と伊那養護学校のことをあたたかく見守りいただきますようお願い申し上げます。

ここで、子どもたちが作った感謝状とお礼の品をお送りしたいと思います。

5. 使用状況等のご説明（ビデオ）…渡邊和幸教頭先生
6. 閉式



●設置場所（身体学習室）の見学

～11:45 終了 ⇒例会場へ移動して通常例会

長野県伊那養護学校に於ける教材フラップリン贈呈式開催について 小向誠一ロータリー財団委員長



11月14日長野県伊那養護学校に、伊那中央RC会員19名、信濃毎日新聞社・伊那ケーブルテレビ・長野日报社・中日新聞社の報道各社、長野県伊那養護学校 渡邊和幸教頭先生が参列し、午前11時から市川修次SAAの開会宣言と共に同司会により開会された。最初に小向誠一財団委員長から経過報告の話があり、続いて唐澤敏治会長より会長挨拶をして頂き、長野県伊那養護学校 渡邊和幸教頭先生から感謝の御礼の言葉を頂き、子供達が教材フラップリンで体験した感想文を写真入りで御礼の言葉を文章にして初等科1年生から6年生迄6点、高等科生徒からは養護学校内で自分達で作った陶芸作品や様々な作品と感謝状が、渡邊教頭先生から唐澤会長に手渡されました。その後、全クラブ会員が教材フラップリンに乗り実体験をしそれぞれ思い思いに、教材フラップリン贈呈に対しての感じ方を持ってくれた事と思います。報道各社はそれぞれの人々に取材をし報道してくれたと思います。

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 平澤理ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・伊那中央RC支援留学生 金根 様

■ 会長談話 唐澤敏治会長



今日はロータリー財団からの地区補助金事業奉仕プロジェクト事業として、伊那養護学校様へのフラップリン贈呈式を19名の会員の皆様に参加いただき盛大に行うことが出来ました。小向誠一ロータリー財団委員長から経過報告がされ、渡邊和幸教頭先生からビデオを見ながら子供達の使用状況等の説明をいただきました。1年生から中等生まで一緒に遊ぶことができコミュニケーションの場になっている。又、普段あまり使うことがない体全体の筋力を使うので、筋力はもちろんバランス感覚を養うことができるとの事でした。私達も年がいてもなく遊んでみましたが子供に帰ったような気持ちになり楽しい一時を過ごすことが出来ました。最後には1年生から中等生まで自分達の手作りの作品を、御礼を兼ね記念品としていただきました。昨年12月から伊那養護学校へ何かをと言うことで計画し、補助金決定額等いろいろな問題が発生し今日まで苦勞をして来ましたが、小向委員長をはじめ会員皆様のご理解をいただき、生徒にも学校にも大変感謝され喜んでいただく事が出来、良かったと思います。御苦勞様でした。

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤敏治 11:00からのフラップリン贈呈式にご参加いただきありがとうございます。大変結構な贈呈式ができ感謝致します。留学生 金根さん良くお出で下さいました。ゆっくりして下さい。
- ◆伊澤和男 無事今年も地区補助金事業を行う事ができました。来年の知恵を今からお願いします。
- ◆池上幸平 先日、ISO14001環境の更新審査が終わりました。又一年間は大丈夫です。一年間仕事を頑張れます。
- ◆田中真人 先週の夜間例会で誕生日のお祝いをしていただきありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

■ 幹事報告 市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・ 11月12日(日)～13日(月)第1回次期ガバナー補佐研修セミナーの報告 田中洋次期ガバナー補佐



第1回次期ガバナー補佐研修セミナーに出席

11月12日(日)・13日(月)の2日間にわたりRI第2600地区次期ガバナー伊藤雅基氏のもと駒ヶ根商工会館に於いて開催されました。

プログラムはガバナー補佐の役割と責務から始まり、RIの「戦略計画」、クラブのサポートと強化、会員増強、クラブ運営の大幅な柔軟性について人道的奉仕の重点化とロータリー財団、公共イメージと認知度の向上など多岐渡って研修を受けました。疲れしました。

・ 12月23日(土・祝)年末家族会の案内 熊谷健親睦活動・友好委員長



今年度も年末家族会を開催致します。会員・ご家族皆様の大勢のご参加をよろしくお願い致します。

・ 「ロータリーの友」11月号紹介 池田幸平会員



今月号はロータリーを理解する上で大変参考になる内容が盛り沢山です。財団、ポリオ、米山記念奨学会、インターアクト、ロータリー財団奨学生等のことについて記載されていますので是非、是非目を通して下さい！

3P 私たちの奉仕の成果である財団

ライズリーRI会長が目に見えないロータリー財団について、今日、ロータリーがこのような組織でいられるのも、財団があればこそと、その意義を述べています。

7P インターアクトと連携する

インターアクトクラブを支援することは、単にボランティア活動の機会を与えたり、リーダーシップを養成するだけでなく、若者と交流することによってロータークラブにも新しい発想や活力をもたらすことが出来るとして、関わり方の例が挙げられています。飯田東RCと下伊那農業高校との活動内容も取り上げられています。

13P 私たちの目標：ポリオのない世界

ポリオ撲滅のパートナー、ドイツ財団のポリオ撲滅プログラムの責任者ジェイ・ウェンガーが伝染病の研究者としての仕事とポリオを撲滅することが、なぜそれほど重要なのかを語っています。ポリオについてその内容が理解できるとともに、ロータリーの撲滅に対する取り組みが理解できます。

24P 米山記念奨学事業50年の歩み

米山記念奨学会設立の経緯が記載されているので参考にしてください。

58P 101歳の誕生お祝い例会

甲府北RCのレジェンド安倍豊さん、101歳の現役会員に驚きました。私も30年余にはこうなっていると思いますが……

73P ロータリー財団奨学生、その後

自分の職業を通して、地域に奉仕する人生を歩んでいる宮崎大学長池ノ上克（ロータリー財団奨学生）さんのお話です。鹿児島島の赤ちゃんが次々に亡くなってしまうことに衝撃を受け、一念発起し周産期医学を学ぶためロータリー財団の奨学生として留学。世界トップクラスの産科学、周産期医学を学び鹿児島に戻り地域の医療分野で活躍されている「山下さんちの五つ子ちゃん」を取り上げた先生です。人生のかなりの部分をロータリアンの影響を受けながら過ごしてきたということで職業奉仕として医療分野での活躍が記されており、財団の奨学金が貢献していると実感できる内容です。大変感動しましたので皆さんにも必ず読んで頂きたいと思います。

■ 出席報告

会員数45名 出席免除会員6名 長欠会員2名 本日出席者23名 事前メイク3名
出席率70.27% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「ロータリー財団委員会」 小向誠一ロータリー財団委員長



本日11月14日、会員皆様の御協力のもと長野県伊那養護学校に於いて、先程午前中に地区補助金事業として教材フラッポリンの贈呈式が終了しました。有り難う御座いました。本日は財団に関する卓話と財団に関する勉強会をする予定でしたが、卓話者が急遽欠席となりましたので私が代理で地区補助金事業についてお話をし、その後皆様の御手元に配布してあるアンケート用紙に必要な事項を記入し収集箱に投函して下さい。此の補助金事業は皆様会員が地区財団に寄付する基金、資金ファンドであります。此の原資を投資して3年後の益金を各クラブでのPC=会員1人当たりの平均年次寄付金の割合で地区財団から助成配分されて来ます。地区補助金事業が始まってから今年度で5回目ではありますがRI、地区を挙げて順次(年々)財団の中心に地区補助金事業が据えられて来ています。従って補助金を思い通り確保する為にはPCを上げる事を奨励しています。第1回から第2回迄補助金は地区1/2 自クラブ1/2、第3回から第4回迄補助金は地区2/3自クラブ1/3、第5回に限って地区1/3自クラブ2/3でありました。従って第1回から第4回迄はPCに関係なく自クラブの目論見通りとなり、第5回についてはPCのみを基準とした為の結果となりました。今後補助金事業の補助金はPCの割合で査定となるようですので、どの様にしたら伊那中央RCとして地区補助金事業を円滑に行われるか？アンケート用紙に御回答下さい。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

11月21日(火) 職場訪問例会 於: KOA株式会社様